

伊那市美術館協議会会議録（概要）

件 名	令和 5 年度 第 2 回 伊那市美術館協議会
-----	-------------------------

日 時	令和 6 年 3 月 8 日（金）午前 1 0 時～ 1 1 時
場 所	信州高遠美術館 2 階 研修室

出席者

関 係 者		教育委員会	
職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	大脇 弘造	教育長	笠原 千俊
職務代理者	北原 秀志	教育次長	三澤 豊
委 員	伊東 重明	生涯学習課長	矢澤 浩幸
	米山 洋子	美術館館長	武井 文一
	飯島 信子	美術館副館長	馬場 文教
	伊藤 仁八	美術館職員	宮下 千瑛
	久保田文子		
欠 席 者	平澤きよ美		
	松崎 和美		

会議内容（概要）

会議 の 内 容	1 開 会
	2 あいさつ ・教育長 先日の雪では、高遠城址公園の桜の枝がたくさん折れた。一昨日の雪ではほとんど被害がなかったようで安堵した。 現在開催中の池上秀畝生誕 150 年展オープニング式典の際に展示を見たが、非常に充実した展示になっている。 昨日、市長にも展示を見ていただいたが、予想していたよりはるかに素晴らしい特別展になっていると感想を述べている。是非、市内外の大勢の皆さんにおいでいただきたいと思う。 新型コロナ感染症も 5 類に位置づけられた。今春こそ多くの方々においでいただくことを期待したい。 美術館協議会では、美術館の運営をよりよくするために委員の皆様のご協力をお願いしたい。 ・会長 芸術に関わる年齢層が高齢化している。若い芸術家を育てなければいけないと思う。美術館等の施設が中心となって、上伊那全域の芸術家が、子どもたちを含めて、生き生きとした芸術活動を展開できるといいと思う。信州高遠美術館がその役割を担っていききたいと思う。 3 協議事項 （1）令和 5 年度事業について （事務局から資料により説明） ・「片岡鶴太郎展」の入館者数は、5, 461 人。コロナ禍の影響が大きかった令和 2 年度から 4 年度までに比べ入館者数が増加したが、経費も大きく、全体としては赤字になった。 ・「美術交流展 2023 in 高遠」、「津野祐次バラ写真展」の入館者は、422 人。貸館事業のため入館料無料。 ・「没後 20 年記念張替正次展」、「収蔵作品郷土作家 15 人展」の入館者は、697 人。 ・「若手アーティスト応援展」は、これまで開催してきた若手アーティスト展に参加した作家有志による展覧会。「SMALL CORPORATION_JP_23（スイス作家 2 人展）」は、ワーケーション事業の一環として美術館で展覧会を行うもの。同時開催で入館者数は、1, 537 人。 ・「第 45 回記念市民美術展」は、美術館と伊那市民美術会が共催事業として行い、入館者は 454 人。

会議の内容	・貸館事業の「大澤政和展」、「ギャラリー円室企画展」にあわせて、第2展示室で「生誕110年記念田中春弥・辻村八五郎・平松譲3人展」を開催した。貸館事業のため入館料無料。 - 貸館の2展覧会の入館者数は、1日当たりにすると45人、36人と比較的多くの皆さんにご覧いただいた。 ・「シンビズム5信州ミュージアム・ネットワークが選んだ作家たち」は、県内美術館の学芸員が協働し、広く知ってほしい作家を選抜して、県内4美術館で展覧会を行ったもの。高遠美術館の入館者数は713人で1日当たり23人。この時期としてはまずまずの入館者であった。 ・「地域のお宝展」は、市内の主に公共施設にあるお宝作品を集めて展示したもの。入館者数は476人。 ・現在「『気韻生動』の画人 池上秀畝生誕150年展」を開催中。市内の高遠町歴史博物館、伊那市創造館、長野県伊那文化会館で記念展を開催。県立美術館、練馬区美術館も巡回展を開催する。 ・市民ギャラリー展は、地域で活動する美術愛好家の活動の支援のために無料で使用していただいている。実施状況は資料のとおり。 ・アートスクール、楽々講座は、資料のとおり実施した。 ・ミュージアムコンサートは、コロナの関係で開催しなかった。 ・東京藝大連携事業は、毎年、大学院生の企画により実施する。今年度は、子どもワークショップとアニメーション作品の制作だった。 (アニメーション作品を視聴) ・その他は、施設管理の大きなものを記載した。 ①収蔵庫の燻蒸 ②令和6年度に工事を予定している空調設備等の更新工事の設計 ③館内の監視カメラの更新 ④小憩ホールにカーテンを設置 カーテンの設置は、美術館のエレベーターが現行法に適合していないことで4月1日から使用できなくなるため、2階にある展示資材の大きなもの等を小憩ホールに置くため、直射日光を避けるためのカーテンを設置したものの。 (質疑・意見) ・委員 講座やアートスクールに小学生や中学生がどのくらい参加しているか。 子どもたちを対象にする活動を大切にして公民館活動を行っている。美術館も子どもを対象とした講座があればいいのではないか。 また、小学生・中学生が学校で美術館を見学するようなことはどのくらいあるのか。
--------------	--

会議の内容	・事務局 アートスクールは、一般市民の方に情報を流して応募いただいた方に受講してもらう。(子ども向けではない。)受講者に子どもは多くなく、片手で数えるくらい。ご意見をいただき、今後の検討課題と考える。 学校の美術館見学は、年間 10 件ほど。学校からご相談いただき見学をお受けしている。この場合、学芸員が展示の説明をしている。 (採決) 全員一致、承認される。 (2) 令和 6 年度事業について (事務局から資料により説明) ・企画展は、資料のとおり実施予定 (1)「『気韻生動』の画人 池上秀畝生誕 150 年展」 (2)貸館「美術交流展 2024in 高遠」 (3)「江崎孝坪生誕 120 年展」 (4)「山岸主計没後 40 年展」 第 1 展示室で(2)の後に(4)、第 2 展示室で(3)を同時開催する。 (5)「若手アーティスト展」 (6)貸館「ギャラリー円室企画展」 (7)「地域のお宝展Ⅱ」 今年度に引き続き第 2 回目の展覧会を実施する。 (8)「収蔵作品秀作展 一人と自然・歴史の世界」 令和 7 年度の観桜期展として実施する。 ・市民ギャラリー展は、記載のとおりだが、(5)の二人展は、作家の変更がある。 ・アートスクール・楽々講座は資料のとおり ・ミュージアムコンサートは、現在決定していないが、2 つのイベントを予定している。 ・貸館事業は、3 月 1 日現在 5 件の予約が入っている。 ・東京藝術大学連携事業は、令和 6 年度も引き続き子ども対象のワークショップを中心に実施する。 ・その他は、施設管理関係、空調設備等更新工事、LED 照明改修工事の実施設計、館内無線ラン設備の構築工事を行う。 (質疑・意見) ・委員 講座やアートスクールの受講料は決まっているのか、材料費があるか。 ・事務局 受講料は、1 人 1,000 円。講師の謝礼に充てている。
-------	---

会議の内容	材料費については、講座ごと変わるので、講師と打合せして決める。材料費は、受講者から直接講師に支払う。 ・ 委員 市民ギャラリー展で「伊那高遠の風景展」が春の企画展「収蔵作品秀作展」と重なると思うどのような形になるか。 ・ 事務局 以前に 6 回実施した「信州伊那高遠の四季展」の中の入賞作品（美術館が買い上げた作品）を展示する美術館独自の企画で、収蔵作品秀作展とセットで開催する。 （採決） 全員一致、承認される。 4 報告事項 （事務局から資料により説明） （1）令和 6 年度展示室貸館規程に基づく展覧会について 「美術交流展 2024 in 高遠」と「ギャラリー円室企画展」の 2 件について、前回の協議会で承認いただいた案件を改めて報告するもの。 （2）令和 5 年度美術品の寄附等について 今年度は、寄附が 11 点、寄託が 1 点、購入が 2 点。 （質問、意見なし） 5 その他 （委員から発言なし） （事務局から）委員の皆様の任期が令和 6 年 7 月 1 日までとなっている。特別なことがない限り今回の協議会が最後の会議になるが、任期は残っているので、何か気が付いたことがあればご指導願いたい。改選にあたっては、団体に推薦依頼をする委員さんについては改めて依頼する。引き続きお願いする委員さんには時期が来たらご相談したいと考えている。お世話になったことに感謝。 6 閉 会 ・ 職務代理者 藝大の素晴らしいアニメーション作品はじめ令和 5 年度事業が滞りなくできたことは喜ばしい。6 年度事業も始まっている。さらなる取り組みを期待する。以上で、第 2 回伊那市美術館協議会を終了する。
-------	---